

第89期

中間事業報告書

平成17年4月1日から平成17年9月30日まで



ごあいさつ

株主の皆さまにはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第89期中間事業報告書をお手許にお届けするにあたり、ひとことごあいさつを申し上げます。

当上半期のわが国経済は、企業収益が改善し、個人消費に持ち直しの傾向が見られたものの、厳しさの残る雇用情勢や原油価格の高騰など、景気の動向は依然として弱含みのまま推移いたしました。

このような経済情勢の下におきまして、当社グループでは今年度を初年度とする新3か年経営計画「進化123計画」を策定し、各種施策への取り組みを進めてまいりました結果、当上半期は期初予想を上回る経常利益を確保することができましたが、固定資産の減損に係る会計基準の適用が開始されたことに伴い、事業用資産についての減損損失を計上したこと等により、遺憾ながら中間純損失を計上することになり、当期の中間配当につきましては、先にご案内いたしましたとおり、その実施を見送らせていただくことといたしました。株主の皆さまにはなにとぞご了承を賜りますようお願い申し上げます。

景気の先行きに若干明るい兆しが見えはじめ、鉄道の輸送人員の減少傾向が鈍化してきたとはいえ、当社グループをとりまく経営環境は依然として厳しい状況が続くものと予想しております。その環境に立ち向かうべく、役員・従業員が一丸となって、先に策定いたしました3か年経営計画「進化123計画」で定めた基本目標及び数値目標の達成に向けて邁進してまいり所存でございますので、株主の皆さまには今後も温かいご支援をいただきますようお願い申し上げます。

さて、当社は本年、明治18年の創業以来120年目となる節目の年を迎え、これまで当社を支えてくださった沿線の皆さまをはじめとする多くの方々への感謝の意を込めて、沿線の魅力を再発見するためのリレーフォーラム、「みさき公園」の無料開放、高野線の一部の駅ほかでの記念植樹、沿線観光地における清掃活動など、各種記念行事やキャンペーンを実施し、ご好評をいただいております。また、開業後2年を経過したなんばパークスについては、現在鋭意第2期事業の工事を進めており、平成19年春には全体が完成した姿を皆さまにご覧いただけることと存じます。さらには、なんばパークス隣接地における超高層マンションの共同開発事業にも参画しており、平成19年8月に完成する予定でございます。両施設の完成は、当社創業の地である「難波」の魅力をより一層高めることとなり、ひいては当社沿線全体の価値向上にもつながるものと考えております。

また、当社では、本年6月から執行役員制度を導入し、セグメント別にグループ会社を統括するグループ執行役員を交えてグループ力強化のための方策を検討するなど、導入の効果が徐々に現れてきております。今後も同制度の導入効果を最大化することで、機動的な業務執行体制を確立し、グループ全体としての企業価値の向上をめざしてまいりたいと存じます。

なにとぞ株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成17年12月

取締役社長

山中 諒

当社の連結子会社は69社、持分法適用会社は5社であり、さまざまな分野で事業展開を行っております。
主な会社は次のとおりです。

運輸業

阪堺電気軌道(株)
南海バス(株)
関西空港交通(株)
和歌山バス(株)
南海りんかんバス(株)
御坊南海バス(株)
熊野交通(株)
徳島バス(株)
サザンエアポート交通(株)
南海フェリー(株)
南海マリンアセット(株)
南海淡路ライン(株)
サザントランスポートサービス(株)
(株)南海エクスプレス
南海車両工業(株)

不動産業

*南海都市創造(株)
南海不動産(株)
(株)ステーションパーキング岸和田

流通業

*南海都市創造(株)
南海商事(株)
南海フードシステム(株)
(株)新南海ストア
南海砂利(株)

レジャー・サービス業

(株)南海国際旅行
(株)南海ホリディエンタープライズ
(株)ホテル南海
(株)萬波楼
(株)中の島
葵商事(株)
南海ビルサービス(株)
(株)大阪スタジアムサービス
住之江興業(株)
南海橋本観光開発(株)
ニッポンレンタカー南海(株)
南海アミューズメント(株)
(株)南海ハートフルサービス

建設業

南海辰村建設(株)
(株)日電商会

その他の事業

南海マネジメントサービス(株)
南海保険サービス(株)
南海印刷(株)
(株)シーエス・インスペクター
(株)アド南海

*セグメントの分類上、南海都市創造(株)が重複して含まれております。



和歌山バス(株)



御坊南海バス(株)



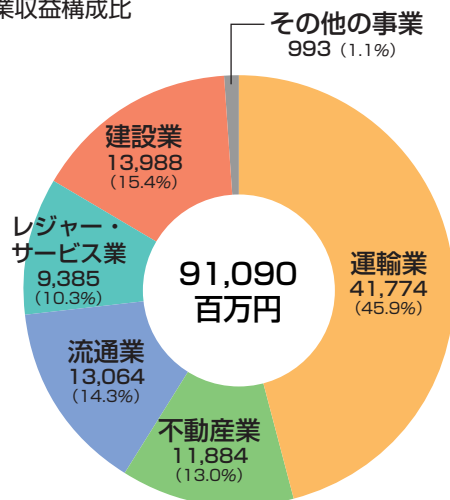
南海フェリー(株)



南海橋本観光開発(株)

第89期中間連結決算の概要

セグメント別
営業収益構成比

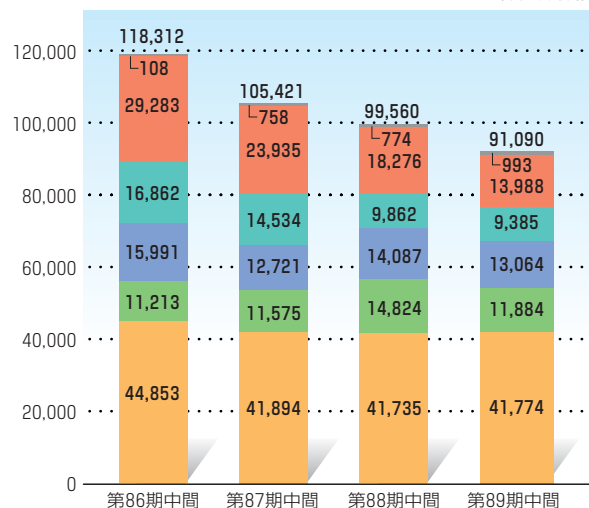


* 外部顧客に対する営業収益を記載しており、セグメント間の内部営業収益又は振替高は含まれておりません。

運輸業、レジャー・サービス業において、昨年世界遺産に登録された当社沿線の貴重な観光資源である高野山や、レジャー施設みさき公園への旅客誘致に努めるなど、各事業にわたり積極的な営業活動を展開いたしました。不動産販売業における減収などもあり、当上半期の営業収益は910億90百万円（前年同期比8.5%減）となりました。一方、費用面では、経費節減をはじめとする経営の効率化に努めてまいりました結果、営業利益は127億19百万円（前年同期比19.1%増）、経常利益は74億38百万円（前年同期比55.2%増）となりました。しかしながら、当上半期におきましては、固定資産の減損に係る会計基準の適用が開始されたことに伴い、事業用資産についての減損損失を計上したこと等により、特別損失を270億4百万円計上いたしました。この結果、法人税等、法人税等調整額及び少数株主損失を加減した中間純損益は、遺憾ながら192億45百万円の損失となりました。

営業収益の推移

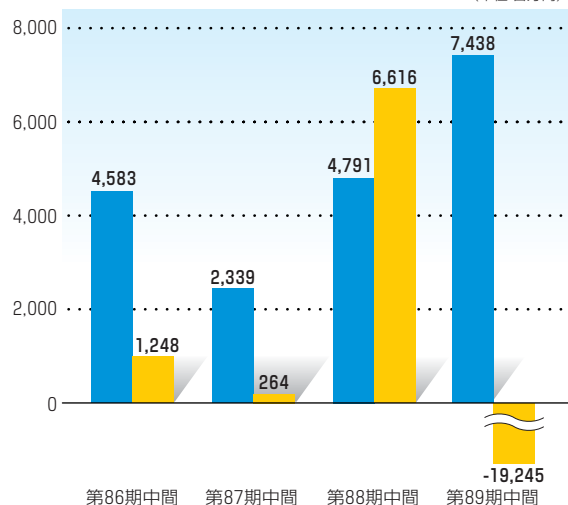
〈単位:百万円〉



■: 運輸業 ■: 不動産業 ■: 流通業 ■: レジャー・サービス業 ■: 建設業 ■: その他

経常利益・中間純利益の推移

〈単位:百万円〉



■: 経常利益 ■: 中間純利益

運輸業

鉄道事業におきましては、営業面では、高野山への旅客誘致に力を入れましたほか、創業120周年を記念して、みさき公園サービック（入園券付往復乗車券）の割引率をアップし、販売を強化するとともに、特急チケットレスサービスにおけるポイントアップキャンペーンや定期特急券・定期座席指定券の値下げを行うなど、特急の利用促進に努めました。また、「関空・りんくうプレミアムきっぷ」等企画乗車券の発売をはじめ、各種ウォーキングイベントの実施などの多様な需要喚起策を講じました。施設面では、定期券・特急券販売システムの再構築工事及び高野線一般車両2300系2両の新造工事が完成いたしました。また、高野線北野田駅改良工事、泉大津市内及び泉佐野市内の南海本線連続立体交差化工事を引き続き推進するほか、南海本線・高師浜線高石市内連続立体交差化工事やICカードシステム導入工事に着手するなど、旅客サービス改善と運転保安度向上のための諸工事を実施いたしました。

以上のような諸施策もあり、乗車人員は、旅客の減少傾向の鈍化により、1億19百万人（前年同期比0.4%減）となりました。

なお、かねて事業からの撤退を表明しておりました貴志川線につきましては、地元自治体等関係先との協議が整い、その事業を来年4月1日をもって和歌山電鐵株式会社に譲渡する予定であります。

バス事業におきましては、一般乗合路線では、契約輸送の拡充をはかるとともに、引き続き和泉市内や堺市内において輸送需要に見合った路線再編やダイヤ改正など、事業の効率化を進めました。リムジンバスにつきましては、新たに関西国際空港と姫路駅を結ぶ路線を開設し、増収策を講じる一方、一部不採算路線の減便を実施するなど、収支構造の改善に努めました。

海運業におきましては、台風や荒天の影響が少なく、また、企画商品の開発などの積極的な営業活動により、増収を確保することができましたが、原油価格の高騰による影響もあり、依然として厳しい事業環境が続きました。

貨物運送業におきましては、航空輸出が低迷いたしました。航空輸入や海上貨物の取扱いが堅調に推移いたしました。

この結果、運輸業の営業収益は426億92百万円（前年同期比0.4%増）となり、営業利益は61億21百万円（前年同期比1.5%増）となりました。



2300系



堺シャトルバス

事業の概況 [不動産業] [流通業]

不動産業

不動産賃貸業におきましては、「パークスタワー」のオフィスフロアにおいて入居率100%を達成するなど、各物件において空室率の改善に努めました。

不動産販売業におきましては、南海くまとり・つばさが丘、南海林間田園都市・彩の台などで宅地分譲や戸建住宅の販売を推進するほか、超高層マンション「ザ・なんばタワー レジデンス・イン・なんばパークス」の共同開発事業に着手いたしました。しかしながら、分譲区画数の減少や当上半期はマンションの新規分譲がなかったこともあり、大幅な減収となりました。

この結果、不動産業の営業収益は125億54百万円（前年同期比18.5%減）となりましたが、営業利益は45億16百万円（前年同期比57.0%増）となりました。



パークスタワー

流通業

ショッピングセンターの経営におきましては、難波地区では、なんばパークス屋上公園（パークスガーデン）を中心に各種イベントを実施し集客に努めるほか、「なんばCITY」及び「なんばパークスShops&Diners」において、ファッションなどの商品アイテムや施設内各ゾーンの魅力を訴求する各種営業催事を実施いたしました。また、沿線各商業施設においては、施設間競争が激化する厳しい事業環境の下にありましたが、ハウスカード会員を中心に、きめ細やかなマーケティングに基づく販売促進に力を注ぎました。

物品販売業におきましては、新規店舗の開設や難波駅でのワゴン販売を強化するなどの増収策を講じました。

この結果、流通業の営業収益は139億84百万円（前年同期比6.2%減）となり、営業利益は9億90百万円（前年同期比19.5%増）となりました。



なんばパークスShops&Dinersでのイベント風景

レジャー・サービス業

遊園事業におきましては、みさき公園において、ファミリー層をターゲットに時季に適した催物を開催するなど、お客さまの誘致に努めました。

旅行業におきましては、国内旅行の取扱高では、愛・地球博や九州・沖縄方面のツアーが、また、海外旅行の取扱高では、特に中国・香港及びヨーロッパ方面への業務旅行が、それぞれ堅調に推移いたしました。

ホテル・旅館業におきましては、インターネット予約による宿泊客が増加いたしました。愛・地球博の影響もあり、国内旅行代理店からの団体客が減少いたしました。

競艇施設賃貸業におきましては、昨年開設したグルーブルームを兼ね備えた有料指定席が好調に稼働いたしました。舟券売上が減少し、減収となりました。

ビル管理メンテナンス業におきましては、新規管理物件獲得のための営業活動を積極的に推進するほか、既存管理物件の設備改修工事の受注に努めました。

この結果、レジャー・サービス業の営業収益は140億79百万円（前年同期比0.2%増）となり、営業利益は7億61百万円（前年同期比19.6%増）となりました。



みさき公園



勝浦温泉 ホテル中の島（紀州潮聞之湯）

建設業

建設業におきましては、採算性を重視した選別受注を進めた結果、完成工事高は減少いたしました。一方で、工事原価管理体制の見直しにより、引き続き工事原価の圧縮に努めるとともに、諸経費の削減を一層強化した結果、営業収益は178億59百万円（前年同期比14.2%減）となり、営業利益は3億46百万円（前年同期比45.3%増）となりました。

その他の事業

印刷業におきましては受注が減少いたしました。広告代理業におきまして取扱高が増加した結果、営業収益は22億99百万円（前年同期比44.1%増）となり、営業利益は1億30百万円（前年同期比327.5%増）となりました。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表の要旨

〈単位:百万円〉

科 目	金 額	
	当中間期末 (平成17年9月30日現在)	前期末 (平成17年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	136,279	137,657
固定資産	717,990	747,409
資産合計	854,269	885,067
(負債の部)		
流動負債	238,870	260,552
固定負債	508,869	499,881
負債合計	747,740	760,434
(少数株主持分)		
少数株主持分	2,874	2,672
(資本の部)		
資本金	63,739	63,739
資本剰余金	18,471	18,172
利益剰余金	△ 6,078	△ 3,596
土地再評価差額金	18,559	37,412
その他有価証券評価差額金	9,435	7,000
自己株式	△ 471	△ 768
資本合計	103,655	121,960
負債、少数株主持分及び資本合計	854,269	885,067

中間連結損益計算書の要旨

〈単位:百万円〉

科 目	金 額	
	当中間期 (平成17年4月 1日から 平成17年9月30日まで)	前中間期 (平成16年4月 1日から 平成16年9月30日まで)
営業収益	91,090	99,560
営業費	78,371	88,877
運輸業等営業費及び売上原価	75,263	85,240
販売費及び一般管理費	3,108	3,636
営業利益	12,719	10,682
営業外収益	877	901
営業外費用	6,158	6,792
経常利益	7,438	4,791
特別利益	324	2,081
特別損失	27,004	0
税金等調整前中間純利益	△ 19,241	6,873
法人税、住民税及び事業税	823	703
法人税等調整額	△ 665	△ 523
少数株主利益	△ 153	75
中間純利益	△ 19,245	6,616

■ 中間連結剰余金計算書

〈単位:百万円〉

科 目	金 額	
	当中間期 (平成17年4月 1日から 平成17年9月30日まで)	前 期 (平成16年4月 1日から 平成17年3月31日まで)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	18,172	18,134
資本剰余金増加高	298	38
自己株式処分差益	298	38
資本剰余金中間期末(期末)残高	18,471	18,172
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	△ 3,596	△ 27,115
利益剰余金増加高	18,853	25,090
当期純利益	—	7,737
土地再評価差額金取崩額	18,853	17,353
利益剰余金減少高	21,336	1,571
配当金	2,090	1,571
中間純損失	19,245	—
利益剰余金中間期末(期末)残高	△ 6,078	△ 3,596

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

〈単位:百万円〉

科 目	金 額	
	当中間期 (平成17年4月 1日から 平成17年9月30日まで)	前中間期 (平成16年4月 1日から 平成16年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,982	20,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,453	△ 13,469
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,524	△ 14,591
現金及び現金同等物の増減額	1,004	△ 7,824
現金及び現金同等物の期首残高	20,471	29,007
現金及び現金同等物の中間期末残高	21,476	21,182



中間財務諸表(単体)

中間貸借対照表の要旨

〈単位:百万円〉

科 目	金 額	
	当中間期末 (平成17年9月30日現在)	前期末 (平成17年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	104,841	101,944
固定資産	515,088	704,400
資産合計	619,930	806,344
(負債の部)		
流動負債	169,135	216,462
固定負債	344,576	462,317
負債合計	513,711	678,780
(資本の部)		
資本金	63,739	63,739
資本剰余金	18,462	18,461
利益剰余金	146	4,338
土地再評価差額金	17,975	36,829
その他有価証券評価差額金	6,327	4,572
自己株式	△ 432	△ 375
資本合計	106,218	127,564
負債・資本合計	619,930	806,344

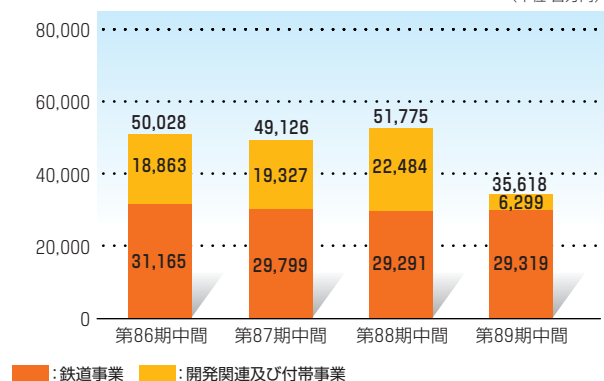
中間損益計算書の要旨

〈単位:百万円〉

科 目	金 額	
	当中間期 (平成17年4月 1日から 平成17年9月30日まで)	前中間期 (平成16年4月 1日から 平成16年9月30日まで)
営業収益	35,618	51,775
営業費	28,828	42,860
営業利益	6,790	8,914
営業外収益	1,690	675
営業外費用	4,990	6,152
経常利益	3,490	3,438
特別利益	258	1,538
特別損失	28,346	0
税引前中間純利益	△ 24,597	4,976
法人税、住民税及び事業税	△ 1,530	22
法人税等調整額	△ 2,121	△ 9
中間純利益	△ 20,945	4,963
前期繰越利益	2,238	1,506
土地再評価差額金取崩額	18,853	13
中間未処分利益	146	6,483

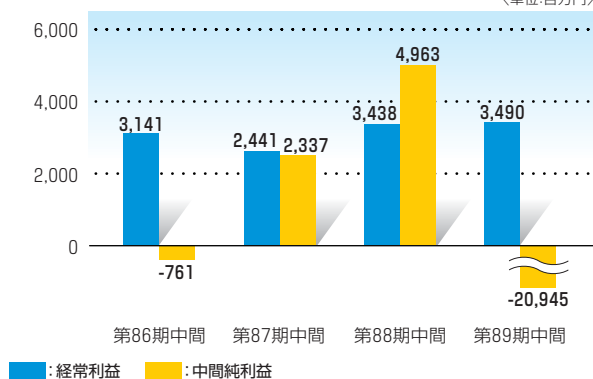
営業収益の推移

〈単位:百万円〉



経常利益・中間純利益の推移

〈単位:百万円〉



*平成17年4月1日、開発関連及び付帯事業のうち、難波地区の流通・不動産賃貸事業等の営業を南海都市創造㈱に承継させました。

① 創業120周年記念行事を各種開催しました。

明治18年(1885年)にわが国最初の純民間資本による鉄道会社として、難波～大和川間を蒸気機関車で運行開始し、本年をもって創業120周年を迎えました。そこで、この120年の間、当社を支えていただいた沿線の皆さまをはじめとする多くの方々への感謝の意を込めて、以下のような記念行事を開催しました。

(1)「南海沿線リレーフォーラム」の開催

南海沿線の魅力を再発見してもらうため、沿線各都市の文化・歴史・産業などをテーマに基調講演とパネリストによるディスカッションを行う「南海沿線リレーフォーラム」を、本年6月に堺市で、また10月には和歌山市でそれぞれ開催しました。



(2)「みさき公園」の無料開放

昭和32年に創業70周年記念事業として開園した遊園地「みさき公園」の無料開放を、本年9月9日～11日の3日間実施し、3千人を超えるお客さまにご来場いただきました。また、10日・11日の両日には、難波駅発みさき公園駅行きのイベント列車「みさき公園行 臨時ラピート」を運行しました。



(3) 記念ヘッドマークを取り付けた列車や旧塗装列車の運行

創業120周年の記念ヘッドマークを装着した列車を、南海線及び高野線で運行しました。また、昭和30年代半ば以降、平成4年から平成6年の間に現在の塗色に塗り替えられるまで運行していた緑のツートンカラーの旧塗装列車を、来年6月末までの期間限定で復活させ、南海線で運行しています。



この他にも「創業120周年記念コンパスカード」の発売、高野線の一部の駅や「なんばカーニバルモール」での記念植樹、こども絵画コンクールなどを行いました。



② なんばパークス第2期工事及び 「ザ・なんばタワー レジデンス・イン・なんばパークス」建設工事に着手しました。

なんばパークス第2期の建設工事に本年4月から着手しました。開業時期は平成19年（2007年）春であり、商業施設（Shops&Diners）とシネマコンプレックスで構成します。

また、なんばパークス隣接地において、当社、オリックス・リアルエステート株式会社、三洋ホームズ株式会社、総合地所株式会社の計4社で、超高層マンション「ザ・なんばタワー レジデンス・イン・なんばパークス」を共同開発します。本年7月から建設工事に着手しており、平成19年8月の完成予定です。

「ザ・なんばタワー レジデンス・イン・なんばパークス」 計画概要

- 階数 46階建
- 総戸数 344戸
- 住居専有面積 37.04㎡～199.92㎡
- 間取り 1LDK～4LDK+N
- 販売価格帯
1,980万円～2億4,800万円



なんばパークス南側で進む工事の様子
(手前:なんばパークス第2期、奥:ザ・なんばタワー)



「ザ・なんばタワー レジデンス・イン・なんばパークス」外観完成予想図

③ 「オー・ストリート橋本彩の台」が オープンしました。

南海林間田園都市・彩の台で、阪奈和エリア最大級のショッピングセンター「オー・ストリート橋本彩の台」が本年4月にオープンしました。スーパーマーケット「オークワ」を核に、物販・飲食など合計15店舗で構成され、彩の台の魅力向上に大きく貢献しています。



④ 「^{ミナピタ}minapitaカード」を発行します。

当社では、スルッとKANSAIが提供するポストペイ（利用代金後払い）のICカードシステム「PiTaPa」を来年夏に導入します。PiTaPaが導入されますと、当社鉄道線でも、PiTaPaカードを改札機に軽く触れるだけで、運賃後払いでご乗車いただけるようになります。

PiTaPa導入に先立ち、来年2月からクレジットカードとPiTaPaカードが2枚一組になった「minapitaカード」を発行します。このminapitaカードは、なんばCITYなどでの5%自動割引サービスに加え、なんばCITY、なんばパークス、その他提携施設などでは、ご利用額に応じてポイントが貯まるなど、当社沿線、特に難波（ミナミ）でのご利用に大変お得なカードです。さらに、minapitaカードでの当社鉄道線ご利用によるポイントサービスも検討しており、鉄道、流通施設等が一体となったカード事業の展開をはかっていきます。



⑤ リムジンバス「関空・姫路線」の運行を開始しました。

関西空港交通と南海バスでは、本年7月15日から神姫バスと共同で、関西国際空港と姫路駅とを結ぶリムジンバス「関空・姫路線」の運行を開始しました。所要時間は約130分～140分で、運行本数は1日8往復。運賃は大人3,000円・小児1,500円です。



⑥ 貴志川線の新事業者が和歌山電鐵に決まりました。

貴志川線は、本年9月30日限りで事業を終了する予定でしたが、当初の予定を半年繰り下げて来年3月31日まで継続し、翌4月1日をもって和歌山電鐵に事業を譲渡することに決定しました。

⑦ 「難波驛弁」を販売しています。

南海商事では、本年4月から難波駅構内主要売店などで「難波驛弁」を販売しています。南海沿線の食材をふんだんに使用していることが特徴で、1個1,000円（消費税込み）、1日30個限定の販売です。



8 みさき公園でシマウマやイルカなどの赤ちゃんが誕生しました。

みさき公園では、シマウマ、イルカ、カンガルーなどの赤ちゃんが次々と誕生し、来園されたお客さまに愛らしい姿を披露しています。特にイルカの赤ちゃんの生育は非常に難しく、飼育開始以来初めてのことです。



9 「りんくう国際物流センター」に物流倉庫を新設しました。

南海エクスプレスでは、りんくうタウン内にある「りんくう国際物流センター」内に物流倉庫として「南海りんくうロジスティクスセンター」を新設しました。同センターの新設を機に、輸出貨物を集約し、国際物流事業の展開をはかっていきます。



10 外断熱工法のマンション建設工事を推進しています。

南海辰村建設では、外断熱工法による付加価値の高いマンション建設を推進していますが、このたび兵庫県芦屋市で関西初のRCB外断熱工法によるマンション「パレ芦屋西蔵」の建設工事を受注し、平成18年4月の竣工に向け鋭意工事中です。外断熱工法は数種類ありますが、いずれも省エネ効果や結露防止などに優れており、同社では今後も受注拡大をはかる計画です。



会社の概要

■ 会社概要

創 資 本 金	業 明 治18年12月27日（設立 大正14年3月28日） 637億3,903万4,121円
発行済株式総数	5億2,641万2,232株
株主数	63,264名
従業員数	2,684名
本社 事業内容	大阪市中央区難波五丁目1番60号 鉄道事業 開発関連及び付帯事業 開発事業、流通事業、土地建物賃貸事業、遊園事業
営業キロ 車両数	169.1km 716両

(平成17年9月30日現在)

株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
配 当 金 支 払 株 主 確 定 日	利益配当金 毎年3月31日 中間配当を行う場合 その期の9月30日
定 時 株 主 総 会 基 準 日	毎年6月 定時株主総会での権利行使 毎年3月31日 その他必要があるとき あらかじめ公告する一定の日
公 告 掲 載 新 聞	大阪市において発行される朝日新聞及び毎日新聞 なお、貸借対照表及び損益計算書の情報は、当社ホーム ページ（ http://www.nankai.co.jp/koukoku/index.html ） において提供いたします。
名義書換代理人 同事務取扱場所	住友信託銀行株式会社 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

用紙のご請求 ☎ 0120-175-417
 その他ご照会 ☎ 0120-176-417

ホームページアドレス

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同 取 次 所

住友信託銀行株式会社 全国各支店

役員

山	中	諄
宇	澤	典
龜	井	年
小	郷	夫
須	惠	一
福	田	順太
山	部	茂
亘		二
山	本	彦
新	良	篤
内	藤	昭
増	倉	郎
廣	田	紀
小	畠	生
中	筋	朗
西	川	文
岡	田	吾
津	崎	雄
猪	崎	一
関	西	美
森	本	之
東		也
増	田	男
竹	田	男

(平成17年9月30日現在)

株主ご優待制度のご案内

次のとおり株主ご優待証類を贈呈いたします。

所有株式数	優待内容 6回乗車 カード	定期券式乗車証		みさき公園 ご招待券
			軌道・バス 割引付	
1,000株以上 5,000株未満	1枚	—	—	3枚
5,000株以上 10,000株未満	2枚	—	—	
10,000株以上 20,000株未満	3枚	—	—	
20,000株以上 30,800株未満	5枚	—	—	
30,800株以上 51,100株未満	1枚	1枚	—	
51,100株以上 200,000株未満		—	1枚	
200,000株以上 500,000株未満		—	2枚	
500,000株以上 1,000,000株未満		—	3枚	
1,000,000株以上 10,000,000株未満		—	5枚	
10,000,000株以上		—	10枚	

資格確定日	贈呈時期	有効期間
3月31日	6月下旬	7月11日～翌年1月10日
9月30日	12月中旬	翌年1月11日～7月10日
6回乗車カード及びみさき公園ご招待券につきましては、 お手許に届いた日からご利用いただけます。		

Q 6回乗車カードとは？

- A**・当社電車線全線(りんくうタウン駅・関西空港駅間を除く。)でご利用いただけます。
- ・そのまま自動改札機に投入してご乗車いただくか、複数でのご乗車の場合等はあらかじめ自動券売機で乗車証に引き換えてもご乗車いただけます。(引き換えた乗車証の有効期限は、カードと同じとなります。)1乗車(片道)でのご利用で、1回乗車となります。(途中下車は前途無効)

Q 定期券式乗車証とは？

- A**・当社電車線全線(りんくうタウン駅・関西空港駅間を除く。)でご利用いただけます。
- ・有効期間内であれば、何回でもご乗車いただけます。
- ・記名人(株主ご本人)以外の方もご利用いただけます。

Q 引越し・住居表示の変更等で住所が変更になりました。何か手続きが必要ですか？

- A**・住所変更のお手続きが必要となります。
- ・所定の「変更届」に必要事項をご記入いただき、お届出印をご押印のうえ、「住友信託銀行(証券代行部)」にご提出ください。
- ※なお、証券保管振替制度をご利用されている場合のお取り扱いにつきましては、お取引の証券会社を通じてお手続きください。

株主ご優待制度をはじめとして、株式関係のお手続きについて当社ホームページ(<http://www.nankai.co.jp/>)でご案内しております。ぜひご利用ください。